

「第10回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」

開催結果

流域管理と地域計画の連携方策に関する取組やその課題等を土木学会会員と行政で共有するとともに、これらの課題に対する理解を深めることを目的に、「流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」を開催。土木学会講堂とWEBオンラインを組み合わせたハイブリッド開催で行い、当日は、対面参加、zoom参加、Youtube視聴者の合計で約600名の参加を得ました。

【プログラム】

- ・日時：令和5年1月17日（火）14：00～17：30
- ・場所：土木学会講堂とWEBオンラインによるハイブリッド開催

1. 開会

開会挨拶 京都大学大学院 教授 立川 康人（流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会 委員長）

2. 第1部 まちづくりや土地利用計画と連携した流域治水の本格的実践—大和川を対象に

1) 大和川流域における流域治水の実践について

国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所 事務所長 山本 浄二

2) 水害に強いまちづくりを目指して（いままで・これから）

川西町まちマネジメント課 理事 山口 尚亮

3) 流域治水に関する研究

滋賀県立大学 准教授 瀧 健太郎

総合討議① コーディネーター：小委員会幹事長 熊本大学 准教授 田中 尚人

3. 第2部 これからの流域治水の取組に向けて ～河川砂防技術研究開発公募制度～

1) 河川砂防技術開発公募制度の概要

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川情報企画室 室長 藤田 士郎

2) 水田圃場施設を利用した新しい洪水導水方法の提案と流域治水実証実験*

中央大学 教授 手計 太一

3) 居住誘導浸水想定区域での市街地評価技術の確立とリスク対策事業の導入に関する研究*

長岡技術科学大学 准教授 松川 寿也

総合討議② 司会： 小委員会幹事長 京都大学 教授 市川 温

*河川砂防技術研究開発公募研究

4. まとめ、閉会

小委員会委員長 京都大学大学院 教授 立川 康人



総合討議の様子



対面参加会場(土木学会講堂)の様子